

### 3学期を充実させるために！！

早いことにもう終業式、2学期も終わりですね。冬休みに入りクリスマスや年末年始、家族や大切な人と過ごす時間が多くなる時期になりますが、冬休みを満喫するばかりではなく今年1年を必ず振り返るようにしましょう。そして、新年に向けて目標を立てて下さい。

2学期は体育大会をはじめ、インターンシップや修学旅行など多くの行事を開催することができました。そのなかで学ぶことが多くあり、みなさんを成長させる糧になるものがあつたはずです。良かったことや悪かったこととしっかりと向き合い成長の一步として下さい。

 1年生の皆さん、1、2学期の学校生活は充実していましたか？気持ちが緩んできているようなことはありませんか？残り3カ月、良い形で1年を締めくくることが出来るように、今できることに全力で取り組むようにしてください！！

2年生の皆さんにとって3学期は3年0学期とも言われ、3年生になる準備をする学期になります。受験や就職など自分自身の進路選択をしなければならない3年生に向けて、気持ちを切り替えるための冬休みにしてください！！

3年生の皆さんは高校卒業が刻一刻と迫ってきました。残りの学校生活が次のステップへつながるよう充実した学校生活を送るようにしてください！！

先月号にも書きましたが1・2年生のうちから学校生活をいかに充実させ過ごしていたのか、試験対策など進路実現に向けてどのように準備を進めて来たのかが試験の合否の分かれ目になります。3年生になってから頑張れば良いでは手遅れになってしまいます！！成績はもちろんですが、欠席の日数、高校生活で成長したことなどの積み重ねが進路実現のために今後、更に大切になっていくと思いますので1年間のまとめの学期になる3学期を充実させるようにしてください。

### 12・1月の予定

- 12/20 (金) 終業式・大掃除・LHR
- 12/23 (月)～25 (水) 成績不振者指導
- 12/26 (木)～27 (金) 成績不振者追試験
- 12/29 (月)～1/ 3 (金) 学校閉鎖
- 1/ 7 (火) 始業式・大掃除
- 1/ 7 (火)～ 9 (木) 進路希望調査(1・2年生)
- 1/ 8 (水) 1・2年生課題テスト(3限まで)  
3年生平常授業
- 1/18 (土)～19 (日) 大学入学共通テスト(3年生希望者)
- 1/18 (土) 1、2年総合学力テスト(希望者)、2年公務員模試(希望者)
- 1/14 (火)～20 (月) 面接週間(45分授業)

**新学期**

1/7から3学期がスタートします。寒い日が続きますが体調を崩さないようにしましょう！！くれぐれも初日から欠席することがないように！！

## 授業をしっかり受けていますか？



「成績を上げたい！」と思ったときにまず何が大切だと思いますか？授業態度や提出物をきちんと出しているか…と色々ありますが多くの人が「テストでいい点を取ること」を思い浮かべるのではないのでしょうか。

テストの点数は、成績をつけるうえでも重要視される部分です。ですからテストでいい点数をとることがやはり成績を上げるためには欠かすことができません。では、テストの点数を上げるために本当に必要なことって何でしょうか。テスト期間に勉強方法を工夫して、効率よく勉強することも一つの手ですが、一番大切なのは「普段の学校の授業」です！学校の授業をおろそかにしてしまうと、テスト前に一気に詰め込むことになってしまいます。その時は結果が出たとしても、詰め込み勉強は知識が定着しません。学期末の復習テストや入試になると、結局ほとんどの学習範囲の勉強をやり直し…ということになってしまいます。結局のところ、**毎日の学校の授業の知識を定着させていくことが、最も効率が良い勉強法**です。

### 1. 自分が知りたいことが書いてあるノート・プリントを作る

中学校までは、ノートやプリントの提出のときに先生に与える印象が良くなるように、「板書通りに」「きれいに」書くことを心掛けていた人も多いかもしれません。しかし、高校ではあとで見返したときに「自分が知りたいことが書いてある」ノートやプリントを残すことを意識してください。

先生が板書をせずに口頭だけで説明した部分でも、「ここは重要なポイントだ」と思えばメモをした方が良いです。

また、重要なポイントは「赤」、先生がテストに出題すると言ったところや個人的なメモは「青」そのほかは「黒」などで色分けすると、大切なところが目に入りやすくなるノートやプリントになるはずですよ。

そして、授業が終わった後に「この1時間は何を理解する時間だったのか」を振り返ることを習慣にしてください。「今日はこの法則について理解した」「今日はこの人物とこの事件のことを詳しく勉強した」というように、「何を学んだ授業だったのか」を一言で言えば、授業の内容を理解しているということなので心配いりません。



### 2. 問題集はマークをつけ確実に解けるように

問題集を解くときには、分からなかったことを確実に理解することが大切です。余裕で解けた問題には○、ヒントを使ったなど不安が残る問題には△、全く分からなかった問題には×をつけて、△の問題を確実に解けるようになるまで繰り返し取り組むことをおすすめします。×の問題は余裕があったら取り組みましょう。

毎日部活動で疲れている人もいるかもしれません。そんな人でも毎日の授業を大切にすることはできると思います。授業があつての部活動です！！少し大変かもしれませんが積極的に授業へ参加するようにしてください。その姿勢が将来に必ず役に立ちます！！

### 1. 2年生の皆さんへ、3学期を迎えるにあたって



年が明けた**1月7日(火)**から**3学期がスタート**します。3学期は次年度への「0学期」とも言われ、進級や進路実現の準備を進める学期となっています。「やりたいことがわからない」「大学・短大・専門学校どこに行くべきなのか」「自分に向いている仕事かわからない」など進路選択について悩んでいる人は多いのではないかと思います。漠然と進路について考えることはとても難しいですが、学年別にやっておくべきことを押さえていけば大丈夫です。**みなさんは間もなく大切な3学期を迎え、4月には1つ上の学年へ進級します。その前に、みなさんが進路選択するうえで、各学年でやっておくべきことについて裏面に特集を組みました。**

## 高校2年生に進級したら：自分がどうしたいのかを具体的に考えましょう

高校2年生は、進路について具体的に考え始める時期です。進学を希望する場合は、大学か短大か専門学校にするのか？など詳しく決めていきます。オープンキャンパスや進路相談会に参加して、卒業後の進路についてイメージしておくのもよいでしょう。授業に集中することはもちろんですが積極的に模試を受験するなど、学力を身に付けていくことも重要です。

では次に、高校2年生でやっておくべきことについて具体的にみていきましょう。



### 1. 進路先を、大学か短大か専門学校、就職のどこにするかを選択します。

進路先	メリット	デメリット
大学	<ul style="list-style-type: none"><li>• 将来の選択肢を増やすことができる</li><li>• 4年間授業を受けながら進路について考える時間がある</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>• 専門的なスキルが他の進学選択と比べてつきにくい</li><li>• 学費が高い</li></ul>
短大	<ul style="list-style-type: none"><li>• 早く社会に出ることができる（2年で卒業するため）</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>• 専門的なことを学ぶため、将来の選択肢は大学と比較すると狭まる</li></ul>
専門学校	<ul style="list-style-type: none"><li>• 専門的なことを学ぶため、社会に出てから現場で即戦力になる</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>• 専門的なことを学ぶため、将来の選択肢は大学と比較すると狭まる</li></ul>
就職	<ul style="list-style-type: none"><li>• 大卒よりも早く自立できる</li><li>• 大卒で就職するよりも多くの経験や実績が積める</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>• 生涯賃金が大学よりも低くなる可能性がある</li><li>• 大卒に比べキャリアアップしにくい場合がある</li></ul>

やりたいことがはっきりと決まっているのならば、短大や専門学校、就職を選択していいと思います。反対に将来のことがはっきりと決まっていないので大学で学びながら具体的な将来を決めたいという場合は大学を選択してもいいかもしれません。いずれにせよ自分に合った進路選択をすることが重要です。

### 2. オープンキャンパスに参加する

進学先が開催しているオープンキャンパスや進路相談会に参加します。現地に足を運んでみることで進学先のイメージが付きやすく、パンフレットやHPだけでは分からない魅力を発見することができます。大学教授や先輩の様子を見て入学意欲が高まることもありますので、先入観を持たずにまずは気になる学校を積極的に見に行きましょう。

### 3. 模試を受ける

現段階の実力を測るために、模試を受け始めましょう。1年生から受験できる模試もあれば2年生から受験可能な模試もあります。模試は自分の得意科目や苦手科目、全国における学力レベルなどを把握するために役立ちます。志望校判定ができるタイプの模試もありますので、志望大学や知っている大学の名前を書き、どれくらいの合格率が出るか試してみてもいいでしょう。

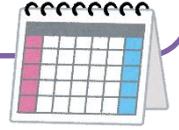


### 4. 高校にどのような企業から求人票が届いているのかを調べる

自分が就きたい職種が決まっても、その職種に対しての求人が無ければ就職することは出来ません。進路室に届いている求人票をチェックしてみてください。進学し資格や知識を習得しなければ就職ができない職種もありますので早めに確認することをおすすめします。

## 高校3年生に進級したら：いよいよ受験対策！合格するまでの対策を練ろう！

高校3年生は、いよいよ受験生として勉強に励む時期です。年間・月間・週間でスケジュールを立て、合格までの道のりを作っていきましょう。部活を引退し、模試や過去問、面接練習に取り組むことも多くなっていくため体力勝負の時期でもあります。最初からあまりエンジン全開にならないよう、計画的に取り組んでいくことが重要です。



では、高校3年生でやっておくべきことについて具体的にみていきましょう。

### 1. 志望校や就職希望先を複数決めておく

いよいよ、卒業後の進路を決定する学年です。既に強く希望する進学先がある場合は、その学校を第一志望に掲げ準備を進めていきます。第一志望がまだ決まっていない場合は、模試や進路相談の結果を参考にいくつか受験校を決めていきましょう。

就職希望者は企業見学に参加しますが、その会社が必ずしも自分のイメージとマッチするとは限りません。同じ職種でも必ず複数社見学できるように過去の求人票をチェックしておきましょう。（過去に本校へ送付された求人は毎年届くことが多いので参考になるかと思います）

また志望校や就職希望先が決まると目標が明確になるので、これからの長い受験勉強を乗り切るモチベーションにも繋がります。進路実現への気持ちを高めつつ勉強に励みましょう。



### 2. 募集要項や願書を集める

志望校の募集要項や願書は、早めに取り寄せましょう。願書だけでも多数の記入項目があり、学校の内申点や推薦書を必要とする学校もあるため、直前に慌てることがないように準備を進めます。また願書の到着日は必ず守るようにします。到着が1日でも遅れてしまうと、出願受け付けが処理されず受験できなかったという事態になりかねません。期日に余裕をもって提出するのがおすすめです。

### 3. 受験までのスケジュールを決める

進学希望の場合は要項に従って受験までのスケジュールを立てます。試験直前になって面接練習や、筆記試験の対策をおこなっても気持ちが焦るばかりで実力が身につけられることはありません。

また、面接や補習を突然先生にお願いしても対応できないこともあります。計画的に準備を進めることによって先生方にも様々なことをお願いしやすくなると思います。

就職希望の場合は実際に求人票が届き始めるのが7月1日からになります。進学希望者に比べて短い期間で進路決定をしなければならないので進路だよりのバックナンバーを見て就職試験までの流れを確認しておきましょう。

### 4. 過去問に取り組む



志望校や就職希望先の試験に向けて過去問に取り組みはじめます。進学希望者は自分の苦手分野や勉強が足りていない単元を改めて見つけていくよう心掛けましょう。年度ごとに繰り返し解くことで傾向や癖を掴みやすくなります。

就職希望者は一般常識や面接が試験の中心となります。特に面接が重視されますので繰り返し練習することを心がけましょう。また、SPIの問題集が進路室にありますのでぜひ利用してください。

## まとめ

今回は、進路の決め方を学年別に解説しました。みなさんが想像しているよりも、あっという間に次の学年に進級します。2年生には方向性を定め、3年生には進路対策に専念できるよう、年明けの3学期（0学期）を大切に環境を整えておきましょう！！